

クリフストーン3型・4型・5型門柱

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 「施工上の留意点とお願い」(裏表紙参照)を必ずお守りください。お守り頂かないとケガや破損の原因となります。

梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数								
	H1000		H700						H300
	独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	(独・フ) ※	(門・フ) ※	独・標
発泡芯材	1	1	1	1	1	1	1	1	1
アンカー棒	2	2	2	2	2	2	2	2	—
結線ボックスセット	結線ボックス材	—	—	—	1	1	—	—	—
	結線ボックス材取付ネジ M4×60ナベ	—	—	—	2	2	—	—	—
	結線ボックスパッキン	—	—	—	1	1	—	—	—
	結線ボックスカバー	—	—	—	1	1	—	—	—
	結線ボックスカバー取付ネジ M3×14サラ	—	—	—	2	2	—	—	—
接着剤	4	4	4	4	4	4	4	4	2
割石仮固定用テープ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
プランター笠木用目地材	—	—	—	—	—	—	1	1	—
隙間埋め用クッション材(L=2000)	3	3	3	3	3	3	3	3	2

※5型には、プランター仕様の設定はありません。

②割石セット<3型>(色：グレー、仕様：左右勝手共通)

名 称	割石ナンバー	員 数	必 要 数								
			H1000		H700						H300
			独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・フ	門・フ	独・標
3 A (割石補修材入り)	X-1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2
	X-6	2						(1)※			
3 B	X-2	2	3	1	3	1	2	—	3	1	—
	X-7	2						(1)※			
3 C	X-2	1	—	2	—	2	—	2	—	2	—
	X-3	1						(1)※			
	X-7	2						(1)※			
3 D	X-2	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	X-4	1						(-)※			
	X-7	2						(-)※			
3 E	X-2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	X-5	1						(1)※			
	X-7	2						(1)※			

※()内員数は、調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

■梱包明細書(つづき)

③割石セット<4型>(色:アイボリー、仕様:左右勝手共通)

名 称	割石ナンバー	員 数	必 要 数								
			H1000		H700						H300
			独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・ブ	門・ブ	独・標
4 A (割石補修材入り)	Z-1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2
	Z-6	2						(1)※			
4 B	Z-2	2	3	1	3	1	2	—	3	1	—
	Z-7	2						(1)※			
4 C	Z-2	1	—	2	—	2	—	2	—	2	—
	Z-3	1						(1)※			
	Z-7	2									
4 D	Z-2	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	Z-4	1						(-)※			
	Z-7	2									
4 E	Z-2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Z-5	1						(1)※			
	Z-7	2									

※()内員数は、調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

④割石セット<5型>(色:ネイチャーイエロー、仕様:左右勝手共通)

名 称	割石ナンバー	員 数	必 要 数								
			H1000		H700						H300
			独・標	門・標	独・標	門・標	独・機	門・機	独・ブ	門・ブ	独・標
5 A (割石補修材入り)	V-1	2	2	2	1	1	1	1	(1)※		2
	V-6	2						(1)※			
5 B	V-2	2	3	1	3	1	2	—	(1)※		—
	V-7	2						(1)※			
5 C	V-2	1	—	2	—	2	—	2	(1)※		—
	V-3	1						(1)※			
	V-7	2									
5 D	V-2	1	—	—	—	—	1	1	(1)※		—
	V-4	1						(1)※			
	V-7	2									
5 E	V-2	1	—	—	—	—	—	—	(1)※		—
	V-5	1						(1)※			
	V-7	2									

※()内員数は、調整金具ピッチ400mmの場合のセット内容です。

⑤笠木セット(色:グレー・アイボリー)

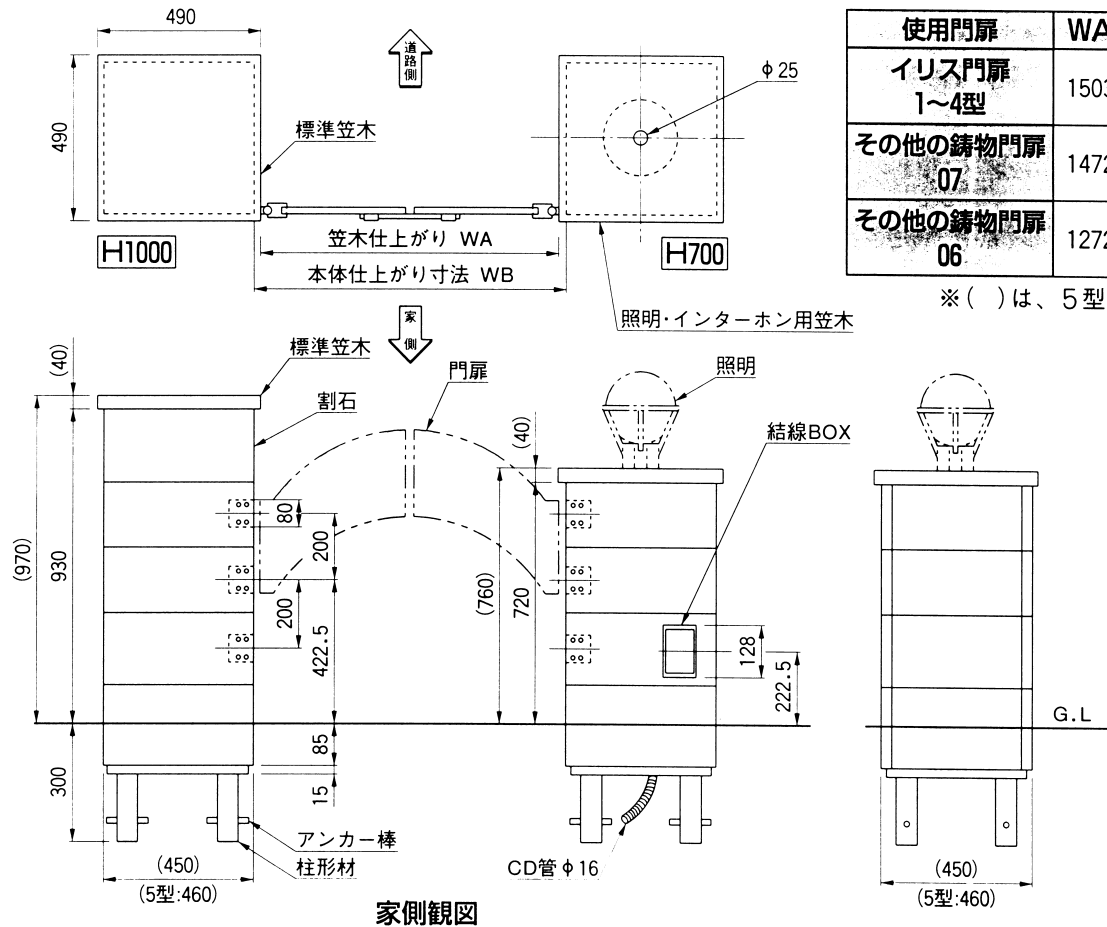
名 称	員 数		
	標準	照明・インターホン用	プランター用
笠木(3型, 4型)	1	1	4
笠木(5型)	1	1	(-)※

※5型には、プランター仕様の設定はありません。

⑥イリス門扉用調整金具セット(左・右)

名 称	員 数	
	左勝手	右勝手
調整金具本体	2	2
角度調整機能用ヒンジB	2	2
ヒンジ取付ボルト	4	4
ヒンジボルトキャップ	4	4
カバー本体取付ネジ	8	8

1.基本寸法および各部名称



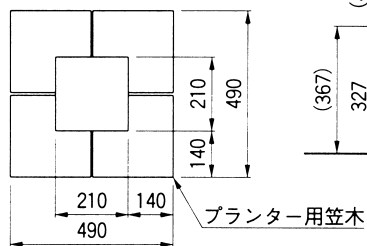
使用門扉	WA	WB
イリス門扉 1~4型	1503	1543 ※ (1533)
その他の鋳物門扉 07	1472	1512 ※ (1502)
その他の鋳物門扉 06	1272	1312 ※ (1302)

※ () は、5型の寸法です。

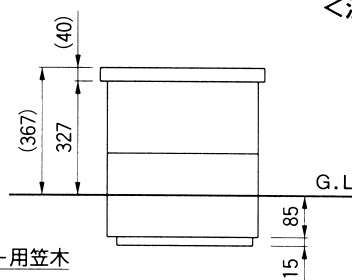
家側観図

H700・プランター付

※ 5型には、プランター仕様の設定はありません。

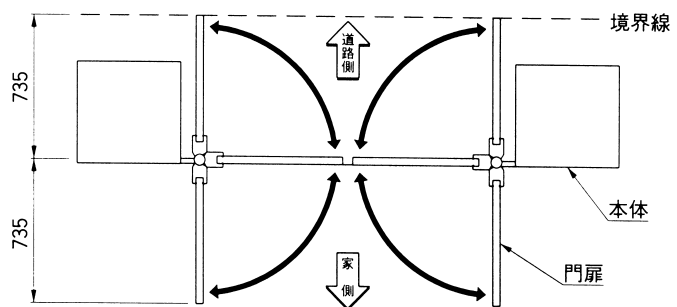
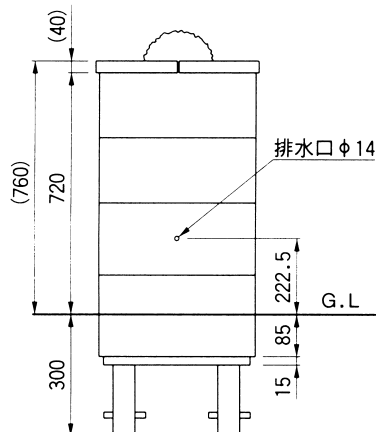


H300



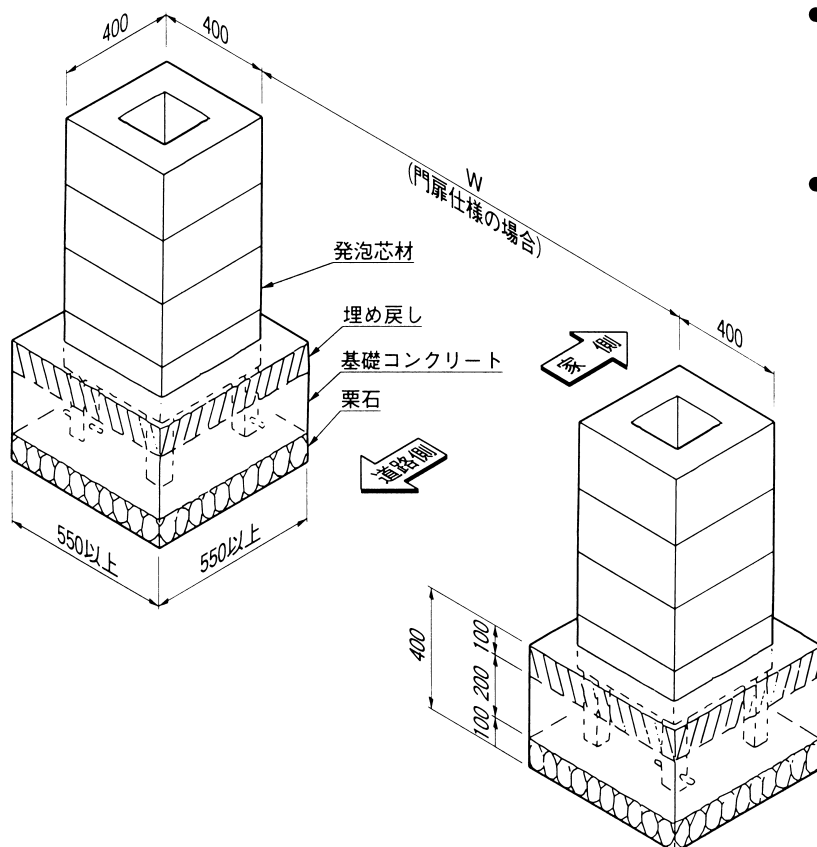
<注 意>

- 「イリス門扉」は内外開きします。したがって敷地の境界線ぎりぎりに門柱を施工することはできません。必ず門扉が180°開閉できる所に施工してください。
- () 内寸法は割石の厚みにより異なります。
- 「片開き」の施工については「サブ門柱」の取付説明書を参照してください。
- プランターには直接土を入れずに鉢植えを入れてください。



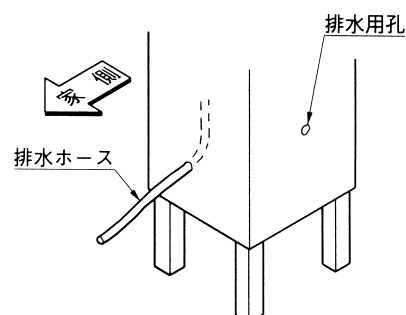
2.基礎の施工

2-1 H1000,H700の施工



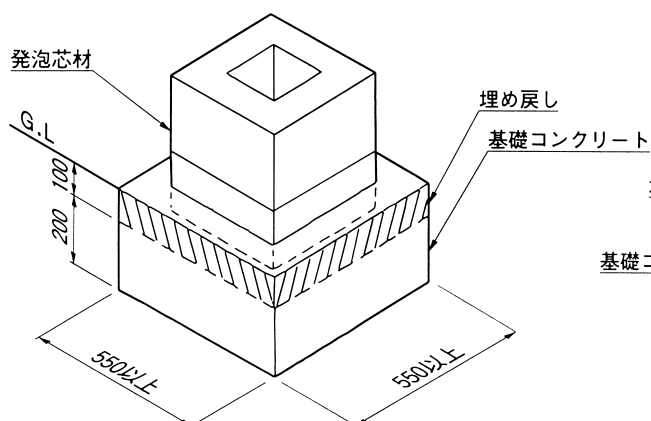
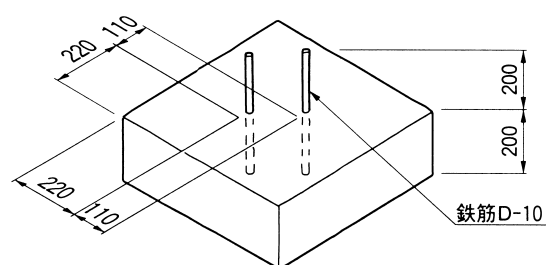
<注意>

- 割石を張った後にコンクリートで埋め戻しを行ってください。
- 「プランター付」の場合は発泡芯材を設置する前に、必ず排水ホースを本体の背面側(家側)にくる穴より外に出してください。また、石張りが終わるまで排水ホースの切断はしないでください。
- 発泡芯材には正面・背面および側面があります。施工の際は向きにご注意ください。

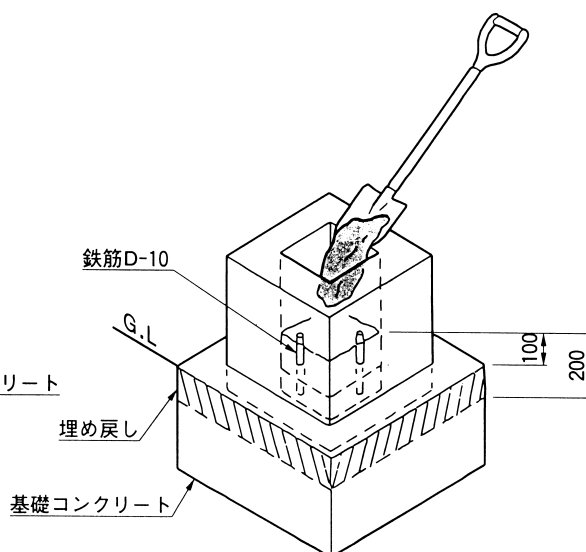


使用門扉	W
イリス門扉	1593
その他の鋳物門扉 07	1562
その他の鋳物門扉 06	1362

2-2 H300の施工



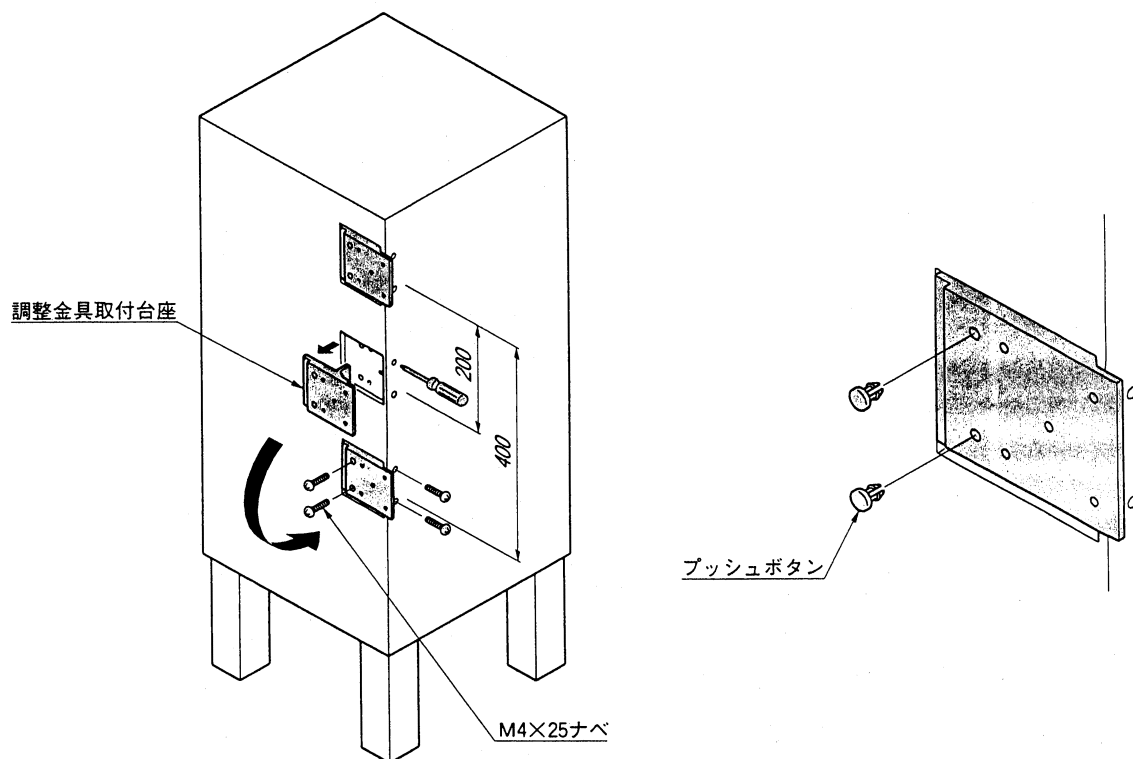
- ① 設置後、発泡芯材の空洞部に生コンクリートを流し込んでください。



<注意>

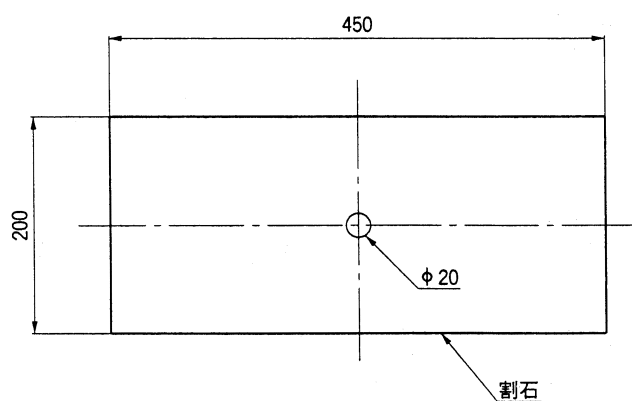
- 割石を張った後にコンクリートで埋め戻しを行ってください。

3. 調整金具取付台座ピッチの変更（門柱仕様、ピッチ400mm）



- ❶ 出荷時では台座ピッチが200mmに付けられています。400mmの門扉を使用する場合は、下側取付部のプッシュボタンをはずし、台座をピッチ400mmに付け替えてください。
- ❷ 中間の取付部のネジ穴には、上記のプッシュボタンをはめ込んでください。

4. 排水ホース用穴の加工（プランター用のみ）



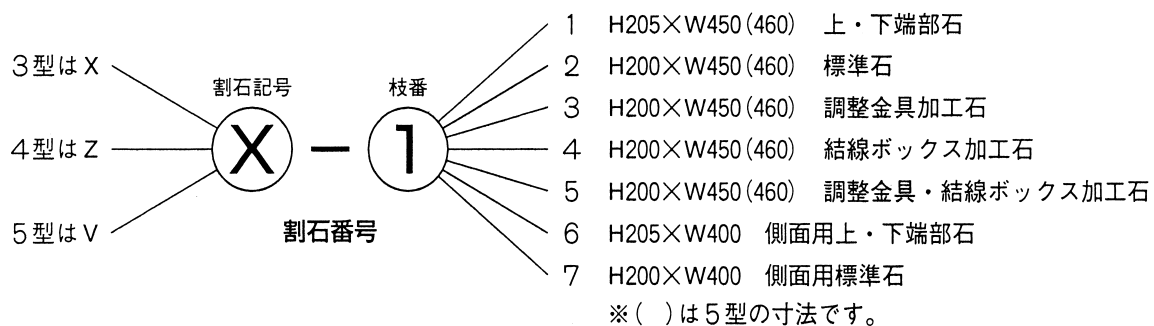
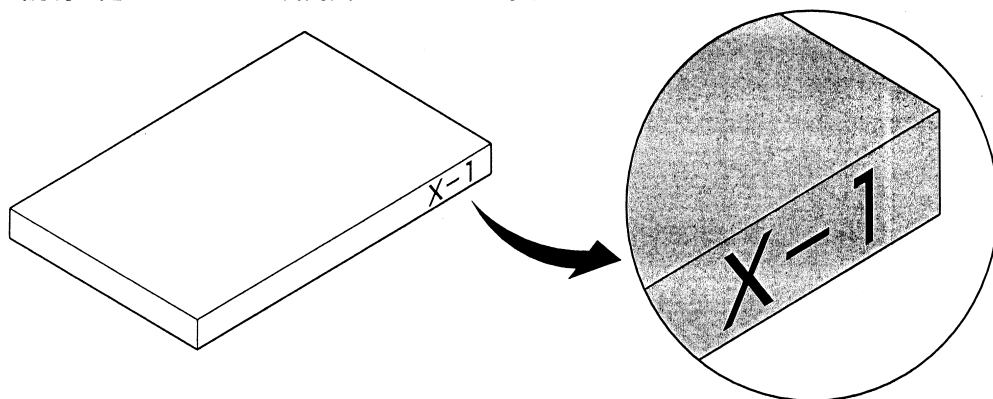
- ❶ 発泡芯材背面側（家側）の、下から2番目に来る石（W:450）に排水ホース取出し用の穴をあけます。左図のように、割石のセンターにφ20の貫通穴をあけてください。

5.石割り

5-1 割石番号について

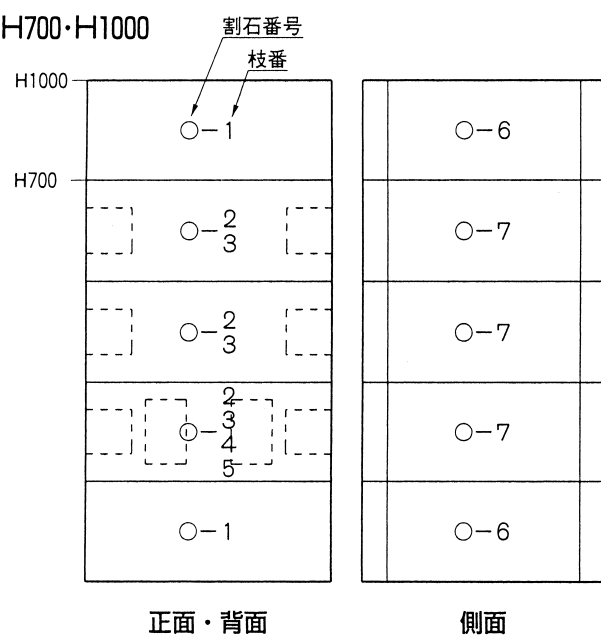
割石側面部にはそれぞれ割石番号が刻印されています。

下記に番号の説明を記しますので、石割図とあわせてご参照ください。

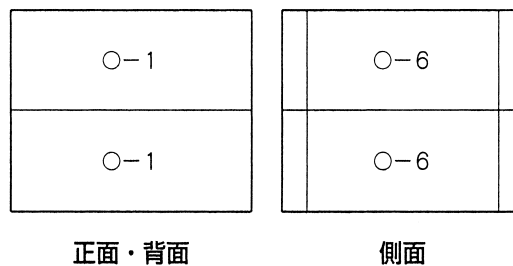


5-2 石割り

H700・H1000



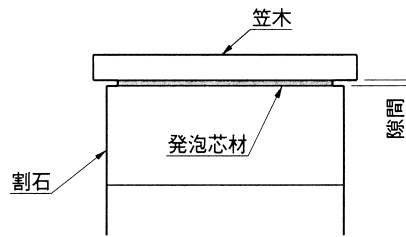
H300



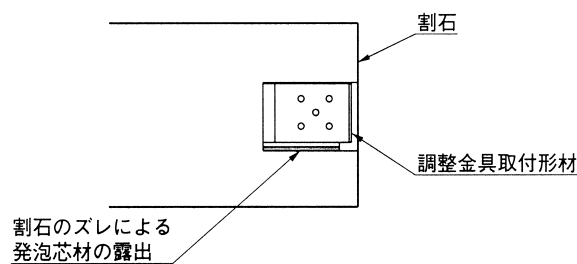
<注 意>

- 発泡芯材には正面・背面、および側面があります。施工の際は向きにご注意ください。
- 上図の○部には、X, Z, Vの各アルファベットが入ります。

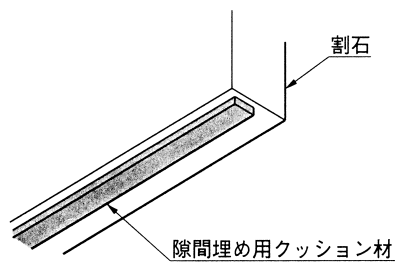
5-3 割石の納まりについて



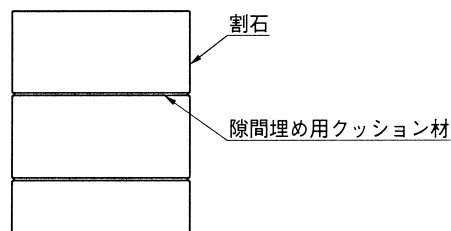
A図



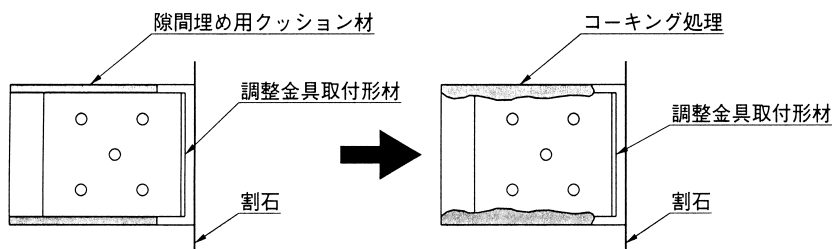
B図



C図



D図



E図

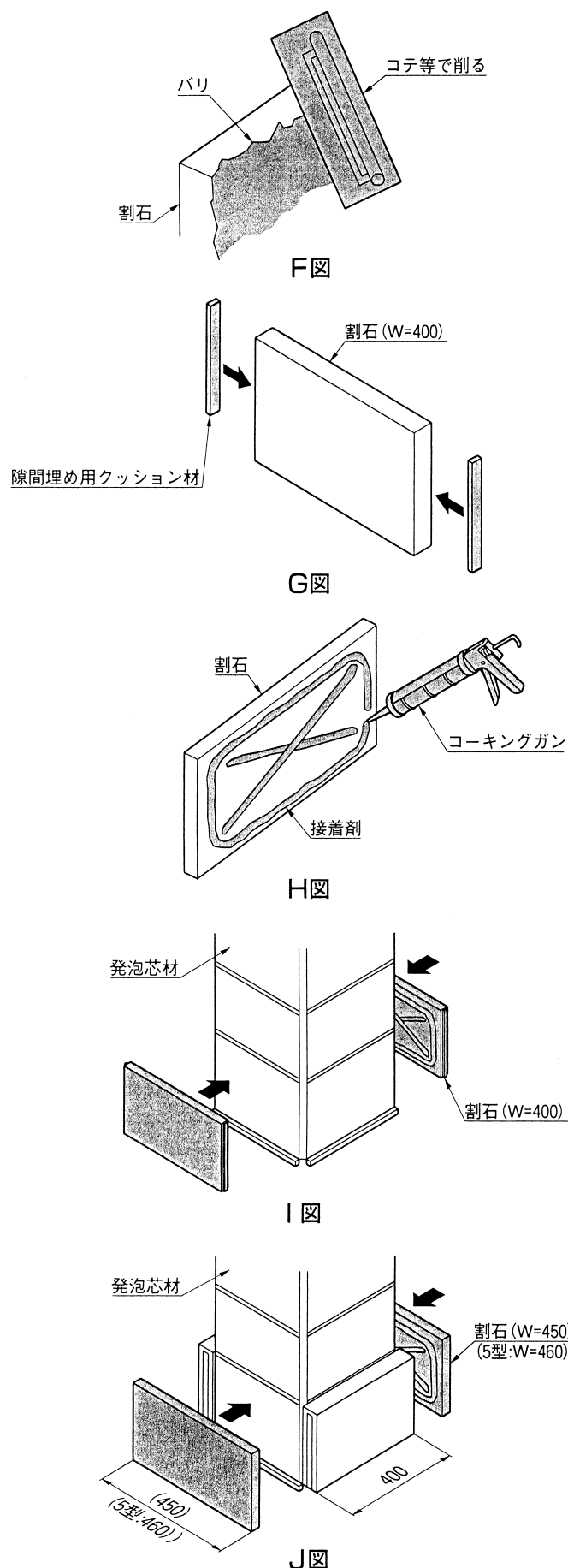
<注 意>

- 割石は製法上、仕上がり寸法に数mmの誤差ができてしまうことがあります。その結果、割石を発泡芯材に張付けるとき、調整金具部、および笠木取付部にズレが生じてしまいます。(A, B図参照)

- 割石を発泡芯材に接着剤で完全に固定してしまう前に、あらかじめ割石を発泡芯材にあてがい、上記A, B図のような割石のズレによる隙間が生じてしまう場合には、割石と割石の間に隙間埋め用クッション材を挿み、仕上がりの高さを調整するようにしてください。(C, D図参照)

- 調整金具部の隙間が目立つ場合には、割石固定後調整金具部の割石と発泡芯材との隙間に隙間埋め用クッション材を貼り、割石張付け用の接着剤または、市販の変成シリコン系のコーキング材を使用して、コーキング処理を行なってください。(E図参照)

6.石張り



- ① 割石のエッジ部に付いているバリ、および割石張付け面に付いている極端な突起部をセメントならし用のコテ等で削り落としてください。(F図参照)

<注意>

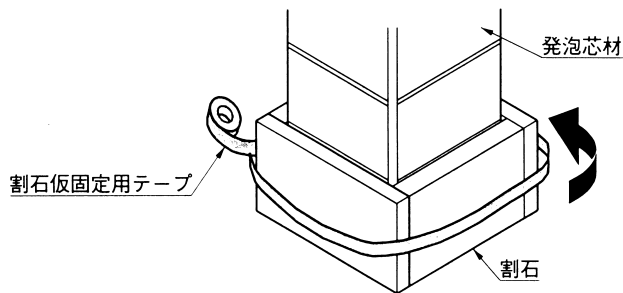
- 割石は製造過程上エッジ部等にバリができてしまいます。このバリを取らないまま割石を張付けますと、割石と割石の間に隙間が空いてしまったり、割石が発泡芯材に納まらなくなってしまうことがありますので、必ずバリを取り除いてから石張りを行なってください。

- ② 側面用の割石 (W=400) に隙間埋め用クッション材を貼ります。クッション材を割石の長さに合わせてカットし、割石の左右方向側面部2ヶ所に貼ってください。(G図参照)

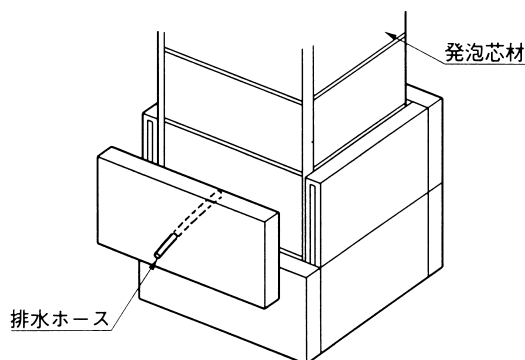
- ③ 割石の裏面(張付け面)に接着剤を塗布してください。このとき、H図のように塗布していただくと適量になります。

- ④ 割石は下段より1段ずつ順番に張っていきます。側面用 (W=400) 割石を両面に張ってください。(I図参照)

- ⑤ 正面・背面用 (3・4型:W=450, 5型:W=460) 割石を張ってください。(J図参照)



K図



L図

- ⑥ 1段目が張り終わりましたら、割石のはがれを防ぐため割石仮固定用テープで接着剤が完全に硬化するまで仮固定してください。このテープは接着剤が硬化し、割石が固定された後取除いてください。(K図参照)

<注 意>

- 割石仮固定用テープは、あくまでも接着剤が硬化し、割石が完全に固定されるまで(2日～1週間)の仮固定としてご使用ください。それ以上の期間使用されますと、テープ表面の接着成分が割石に溶け出し、汚れとして付着してしまうおそれがあります。
- ⑦ プランター用の場合、「4.排水ホース用穴の加工」(5ページ参照)であらかじめ作っておいた割石に、発泡芯材から出ている排水ホースを通し、他の石と同様に張付けてください。(L図参照)

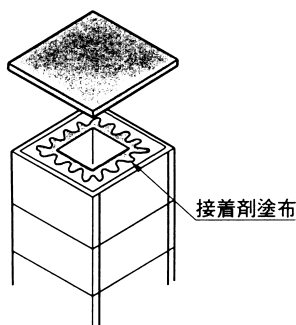
<注 意>

- 5型には、プランター仕様の設定はありません。
- ⑧ ①～⑥の作業を繰り返し、門柱を仕上げてください。

7. 笠木張り

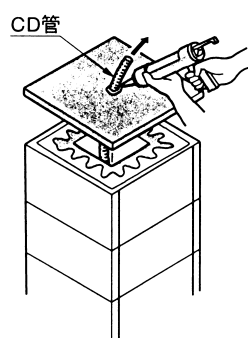
笠木は発泡芯材天面に接着剤を塗布して張ってください。

7-1 標準タイプ



- ① そのまま張ってください。

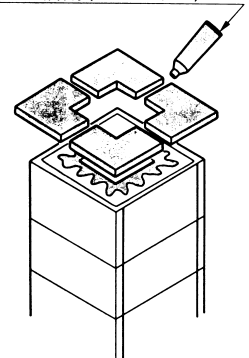
7-2 照明・インターホン用タイプ



- ① CD管を抜き出し穴に通してから張ってください。さらに抜き出し穴とCD管との隙間を接着剤でコーキングしてください。

7-3 プランター用タイプ

プランター笠木用目地材(グレー)または、接着剤(アイボリー)

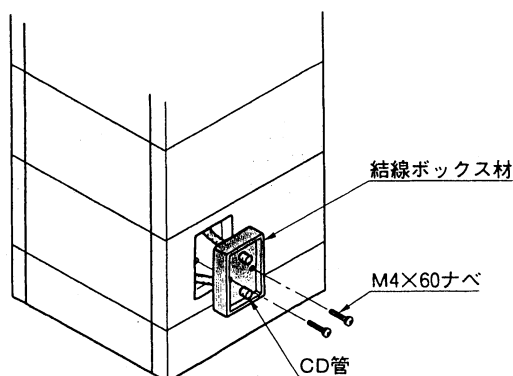


- ① 4つの笠木を組合わせながら張ってください。
- ② 目地部にプランター笠木用目地材(3型用)または、接着剤(4型用)を充てんしてください。

<注 意>

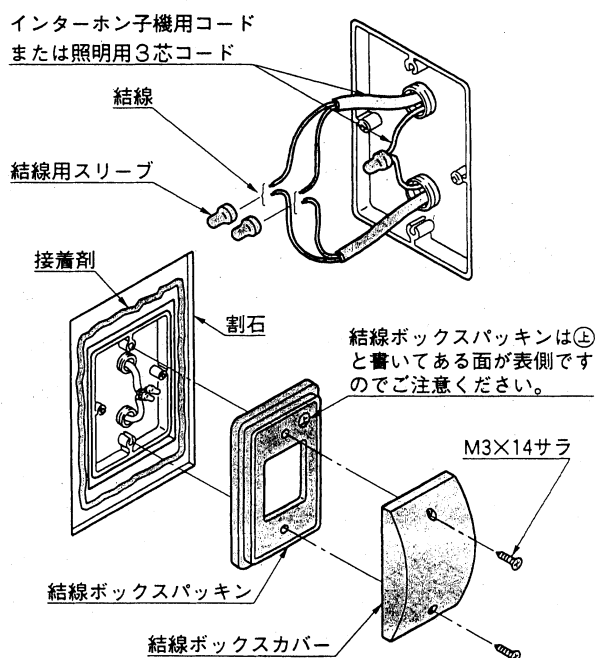
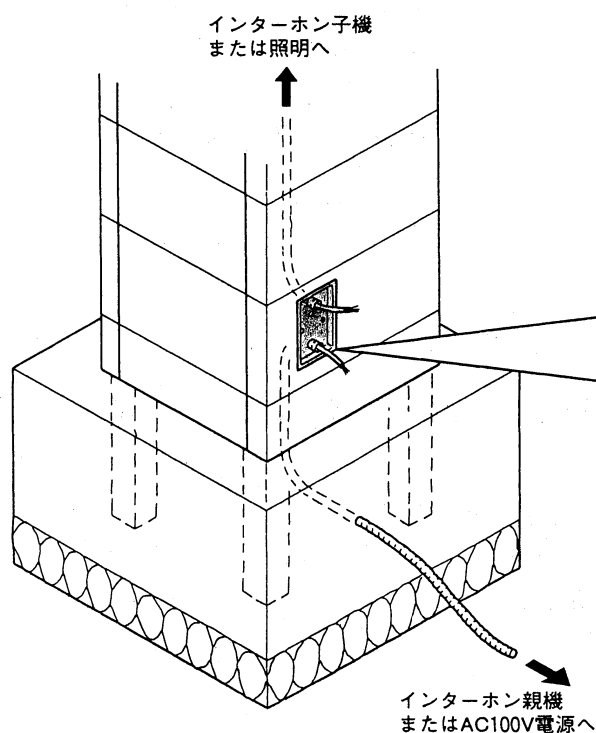
- 5型には、プランター仕様の設定はありません。

8. 結線ボックスの取付け(照明・インターホン用の場合)



- ❶ 結線ボックス材を結線ボックス材取付ネジ(M4×60ナベ)で取付けてください。

9. 結線ボックス内での照明・インターホン用配線の結線方法(照明・インターホン用の場合)



<注 意>

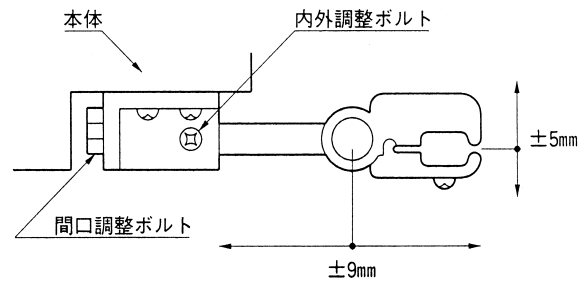
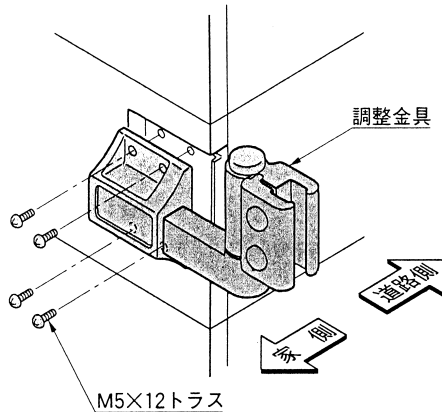
- 電気配線工事は必ず「電気工事店」(電気工事有資格者)様にご依頼ください。
 - 照明・インターホン用配線の詳しい結線につきましては、それぞれ付属の取付説明書および取扱説明書をご参照ください。
 - アース線の接地は必ず行なってください。
- ❶ 結線ボックス内においてインターホン子機と親機との結線、または照明の結線を行なってください。
- ❷ 結線ボックスパッキンと結線ボックスカバーを上図のように取付けてください。

<注 意>

- 止水のため、割石と結線ボックスパッキンの間に接着剤でコーキング処理を行なってください。

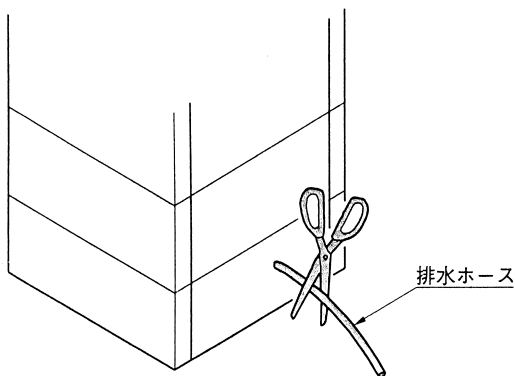
10. 調整金具の取付け(門柱仕様の場合)

詳細は調整金具セット在中の取付説明書をご参照ください。

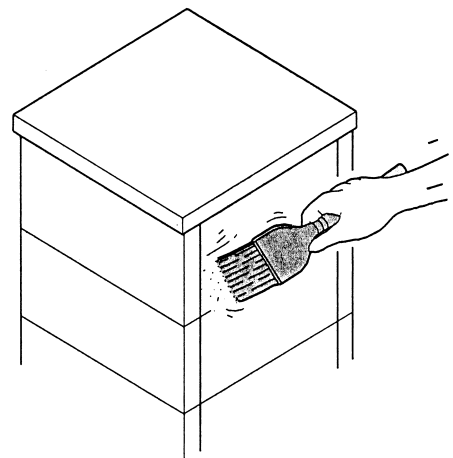


- ❶ 調整金具取付ネジ(M5×12トラス)を用いて台座に取付けてください。
- ❷ 寸法の調整を行なってください。

11. 排水ホースの切断(プランター付の場合) 12. 本体の掃除



- ❶ 必要に応じて排水ホースを切断してください。



- ❶ ブラシ等で本体の清掃をしてください。

13. 割石補修材の塗布

割石の補修用として同系色の塗料を用意してあります。適切な補修をしないと色違いの原因となりますので以下の通り行なってください。

- ❶ 水：補修材＝5：1にて調合します。
- ❷ 補修用フデを用いて割石のキズ、欠損部等に塗ってください。

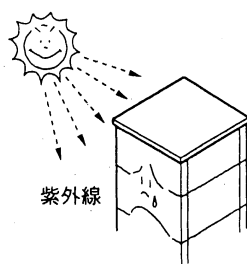
<注 意>

- 割石は自然の風合いを表現するため、割石によって微妙な色の差があります。補修材の濃度を調整することによって色合いは多少変化しますので、割石に合わせ調色してください。

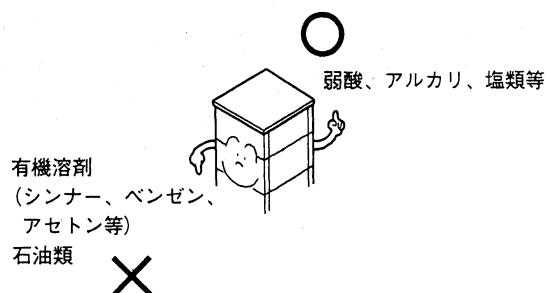
[施工上の留意点とお願い]

■発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると紫外線により表面が劣化するおそれがあります。開梱、固定後はすみやかに割石張りを行なってください。日を置く場合は必ずシート、段ボール等で養生してください。

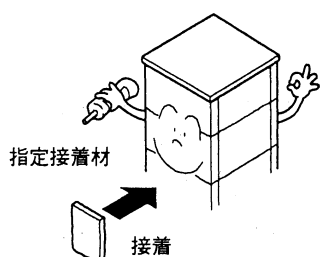
万一劣化等が見受けられましたら、柔らかいブラシ等ですみやかにお取りください。



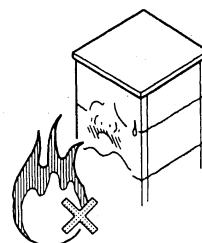
■発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などには優れた抵抗性を持っていますが、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。



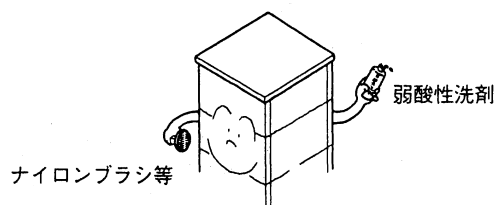
■割石の接着には必ず当社指定の接着剤を使用してください。他の物を用いますと接着剤に含まれている有機溶剤で発泡芯材が侵されたり接着不良を起こしたりします。



■発泡芯材は難燃材を含んでいますので微少火源では着火しにくくなっていますが、融解する性質があります。火気には十分にご注意ください。また、80℃以上になると変形しますので、高温のものは近付けないでください。



■割石の主成分がセメント系であるため割石の内部および目地部分からカルシウム分が水分により溶け出し、表面に白いシミ(白華現象)が出る事があります。ナイロンブラシ等で白い部分を落とし、さらに弱酸性洗剤でふきとっていただければ簡単におとすことができます。



工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。

硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
A219

98-02A
199908C